

SDGs 達成に向けた宣言書 (要件 1)

令和 7 年 1 2 月 1 日

所在地 山梨県北杜市小淵沢町上笹尾 3181

企業名 株式会社ミヨシグループ

代表者 代表取締役社長 三好正一

当社は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

SDGs 達成に向けた経営方針等

当グループは未来のあるべき姿として『世界のすみずみに 1 粒のタネから生まれる新しい「きれい」「おいしい」を届ける』ことをビジョンとし、それを達成するために『オンリーワンな種と苗の開発を通じて世界中の生産者と共に豊かな社会づくりに貢献する』ことをミッションとして掲げています。当グループの SDGs 活動においては、このビジョン・ミッションを念頭に独自のテーマを設定し、そのテーマに沿った目標を達成するために積極的な活動を展開していきます。

3 側面 (主な分野にレ)	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況	
			登録年月日：令和 4 年 12 月 1 日	
✓環境 □社会 □経済	化学農薬および化学肥料の使用量を削減する (2019 年を基準)	化学農薬の使用量削減 現状：11%削減 ⇒2030 年：30%削減	グループ全社で取り組んでいるプロジェクトの成果により 2024 年実績 40%削減達成	(進捗率) 130%
✓環境 ✓社会 □経済	地元地域の社会福祉と環境整備に取り組む	花苗の寄付 (毎年) 現状：3000 ポット ⇒2030 年：6000 ポット	北杜市及び町内の小学校に花苗の寄付 2024 年：3500 ポット寄贈	(進捗率) 58%
✓環境 □社会 ✓経済	栄養繁殖系イチゴよりも環境負荷がかからない種子系イチゴの品種開発と普及拡大を進める	種子系の販売比率向上 現状：10% ⇒2030 年：40%	種子系イチゴの販売は国内だけでなく、海外にも広がり栄養繁殖系イチゴと種子系イチゴの販売数量は同等に増えた。2024 年実績 50%達成	(進捗率) 125%

2030年の目指す姿

同僚への配慮・尊敬・愛情を持って個性を発揮できる明るい職場づくりに取り組み続けている。また、持続可能な社会の実現のために、環境への取り組みを推進し、率先して種苗業界の社会的責任を果たしている。

【記載留意点】

- ・上記については「SDGs 達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs 達成に向けた取組チェックリスト」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs 達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は、原則として数値目標を記載してください。
- ・「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。該当する分野にチェックを入れ、取組が複数の分野にまたがる場合は、複数にチェックを入れてください。
- ・重点的な取組及び指標の進捗状況については、新規登録時は記入不要です。